

平成 26 年度第 6 回政策会議概要

- 1 開催日時：平成 26 年 5 月 29 日（水）9:00～9:10
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

議題 1 平成 26 年度予算の早期実施のための目標設定について

●藤嶋財政課長（資料 1 に基づき説明）

国においては、景気下振れリスク等に適切に対応するため、数値目標を設定し、平成 26 年度予算の早期実施に取り組むこととしており、平成 26 年 3 月 28 日に各都道府県知事あて総務大臣名で、この趣旨に十分留意し適切に対応するよう通知があった。

本県においても、平成 26 年 4 月 9 日に各部局長あて総務部長名で、国の通知の趣旨を踏まえ適切に対応いただくよう依頼したところであるが、今般、公共事業等について、予算の早期実施に積極的に取り組むため、県全体の数値目標を定めることとしたい。

なお、具体的な数値目標は、普通建設事業費、災害復旧事業費を対象に 6 月末で契約率 40%以上、9 月末で 60%以上としたい。

公共工事の入札不調・不落が発生していることを踏まえると、容易に達成できる数値目標ではないと考えているが、目標達成に向けて、取り組んでいただきたい。

☆石垣副知事

目標達成に向けて、取り組まれない。

議題 2 三重県政策アドバイザーについて

●大橋企画課長（資料 2 に基づき説明）

部局から追加要望があったため、提案のあった分野と候補者を検討した結果、6 月 1 日付けで、対象分野に「少子化対策分野」を設置し、政策アドバイザーに「松田 茂樹」氏（中京大学現代社会学部教授）に新たに就任していただく。

松田氏は、少子化危機突破タスクフォースの委員であり、少子化対策全般の知見をお持ちであるが、結婚や子育て等のライフステージ毎の各分野や、若者・女性の就労、ワーク・ライフ・バランス等の「働き方」についても、幅広くご助言いただけるものと考えているため、ご活用いただきたい。

（質疑等なし）

議題 3 「県民の声を受けて」公表分の概要について

●竹内戦略企画部長（資料3に基づき説明）

県民の声を受けて5月16日付けで県ホームページに公表した概要であるが、県民の声の件数は20件で、県の対応件数は22件であった。

主な内容としては、職員の勤務、行動等に関する苦情、照会が6件、職員の気付きに繋がると思われるものとして、県有施設の管理に関する提案・意見が1件寄せられている。

また、県政への反映区分のうち「県民の声を受けて実施した」が4件あった。

各部局においては、内容をよく確認し、引き続き適切に対応していただきたい。

（質疑等なし）

その他

☆竹内戦略企画部長

議題については以上であるが、お手元に「ファザーリング全国フォーラム」のチラシを配布したので、何かあればお願いしたい。

☆西城子ども・家庭局長

6月28日、29日の「ファザーリング全国フォーラム」について、国省庁や三重県労使協働委員会が主催する分科会も開催されることから、積極的な参加をお願いしたい。

☆佐々木医療対策局長

5月22日に県庁玄関前で行われた「生命の駅伝」のランナーの出迎え、激励については、各部局にもご協力のおかげで多数の職員に参加いただいた。この場を借りてお礼を申し上げる。

☆高沖環境生活部長

総合博物館の入館者数が、おかげさまで今週の土日にも10万人に達する見込み。10万人達成の際には簡単なセレモニーを開催するので、まだ行かれていない方は是非お越しいただきたい。

☆竹内戦略企画部長

国への提言・提案活動については、各部の協力により、無事終了できたことをお礼申し上げたい。

また、20日には今年度第1回の経営戦略会議を東京で開催した。会議のなかで、人口減少について、委員からは様々な御意見をいただいたが、人口減少は幅広い分野に関わる問題であり、検討にあたっては全庁的な体制で臨む必要があり、御協力をお願いしたい。また、第2回以降の経営戦略会議についても、引き続き、御協力を併せてお願いしたい。

☆石垣副知事

先日の「三重くらぶ」での知事のことを紹介したい。三重県が元気だということ、数字を挙げて、説明していた。観光入込客の4,000万人超、神宮参拝者数1,420万人など、過去最高の数字7連発が印象的だった。

☆鈴木知事

国への政策提言については、お疲れ様。重点項目は、環境省以外は大臣に直接提言できたことは良かった。皆さんも丁寧に回ってもらって、手ごたえがあったり、これはこうした方がいいな、という感触があったことと思う。今後はしっかりとフォローアップをお願いしたい。